鹿角高等学校魅力化推進事業
進路に関する中学生アンケート
結果報告書

令和８年９月

鹿角市教育委員会

目次

第１章 調査の概要 1
1-1. 調査の目的 1
1-2. 調査対象 1
1-3. 調査期間・調査方法 1
1-4. 回答状況 1
1-5. 集計・分析上の留意点 1
1-6. 各設問の分母（n） 1
第２章 回答者属性 2
2-1. 所属中学校 2
2-2. 学年 2
第３章 進路に関する中学生の意向 3
3-1. 中学校卒業後の進路希望 3
第４章 高校選択に関する中学生の意向 4
4-1. 高校選びにおいて重視すること 4
4-2. 中学生が考える魅力ある高校の条件 5
4-3. 高校生活で大切にしたいこと 7
4-4. 進学を希望する高校等の場所 10
4-5. 進学を希望する高校等の種類 11
4-6. 進学を希望する高校等の学科 12
第５章 就職を希望する中学生の意向 13
5-1. 就職を希望する地域 13
5-2. その地域での就職を希望する理由 13
第６章 進路未定の理由 15
6-1. 進路をまだ決めていない理由 15
第７章 自由記述の分析 16
7-1. 自由記述の分類方法 16
7-2. 自由記述の分類と意見の件数 16
7-3. 自由記述から見える主な傾向 16
第８章 クロス集計による補足分析 18
8-1. 学年別にみた傾向 18
8-2. 進学希望地域別にみた傾向 21
第９章 調査結果から見える鹿角高等学校魅力化に向けた今後の検討課題 24
9-1. 学校生活の魅力や雰囲気の見える化 24
9-2. 学びの特色と進路とのつながりの明確化 24

9-3. 学習面・進路面の不安に応える支援の充実 25
9-4. 地元進学志向を踏まえた魅力向上と市外進学意向層への対応 25
9-5. 進路・進学先に関する未決定層に届く情報提供の充実 26
第 10 章 本調査のまとめ 27
10-1. 調査結果の要点 27
10-2. 中学生の意向と課題 27
10-3. 今後の方向性 28
資料 29
設問一覧 29
自由記述意見（設問 13 の回答） 一覧 32

第１章 調査の概要

1-1. 調査の目的

本調査は、鹿角市内の中学生を対象に、高校選択において重視する事項、高校生活において大切にしたいこと、進学先に関する意向等を把握し、今後の鹿角高校魅力化ビジョン策定及びワークショップ等における議論の基礎資料とすることを目的として実施しました。

1-2. 調査対象

市立4中学校（花輪、十和田、八幡平、尾去沢）に在籍する全生徒（577 人）

※本文中で「中学生」と表記する場合は、特に断りがない限り、市内中学生を指すものとする。

1-3. 調査期間・調査方法

調査期間：令和 8 年 5 月 22 日（金）から 6 月 22 日（月）

調査方法：無記名によるオンラインフォームへの回答

市内市立中学校 4 校に対し、学級活動の時間等での実施を依頼

1-4. 回答状況

回答率：83.4%

（回答数＝481 件/市内市立中学校生徒数 577 人）

※全生徒数は令和 8 年 6 月 1 日現在

1-5. 集計・分析上の留意点

本調査の回答率は 83.4%であり、市内の中学生の意向や課題を把握する基礎資料として活用可能な回答数が得られたと考えられます。

なお、各設問の割合は、当該設問の有効回答数を分母として算出しました。

1-6. 各設問の分母（n）

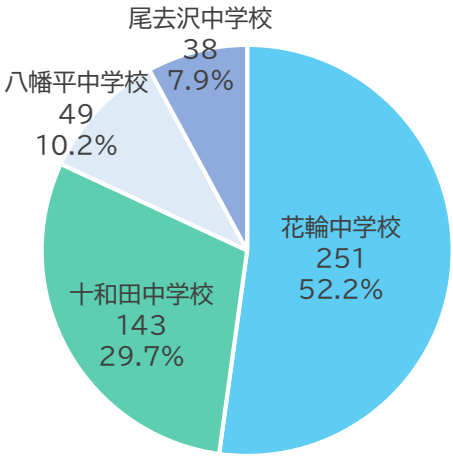
設問1～3	n＝481（全回答者）
設問4～5	n＝478 （設問3で「高校等への進学」、「まだ決めていない」と回答した中学生、未回答除く）
設問6	n＝455（設問3で「高校等への進学」と回答した中学生、未回答除く）
設問7～8	n＝452（設問3で「高校等への進学」と回答した中学生、未回答除く）
設問 9	n＝454（設問3で「高校等への進学」と回答した中学生、未回答除く）
設問 10～11	n=2（設問3で「就職」と回答した中学生）
設問 12	n=23（設問3で「まだ決めていない」と回答した中学生）
設問 13	回答対象者 n=481のうち、回答者 n=45

第 2 章 回答者属性

2-1. 所属中学校

（n＝481）

中学校名	回答数	構成比
花輪中学校	251	52.2%
十和田中学校	143	29.7%
八幡平中学校	49	10.2%
尾去沢中学校	38	7.9%
合計	481	100.0%

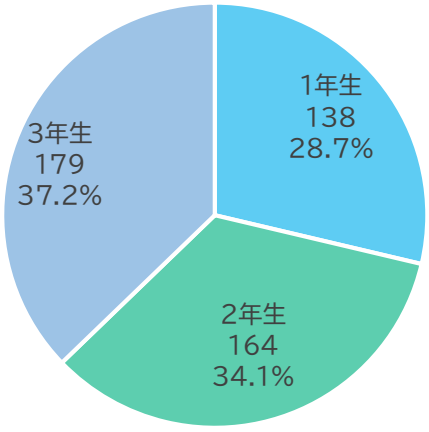


回答者である中学生の所属中学校は、花輪中学校が 251 人(52.2%)と最も多く、次いで十和田中学校が 143 人(29.7%)、八幡平中学校 49 人(10.2%)、尾去沢中学校 38 人(7.9%)となっています。

2-2. 学年

（n＝481）

学年	回答数	構成比
1 年生	138	28.7%
2 年生	164	34.1%
3 年生	179	37.2%
合計	481	100.0%



学年別では、1 年生が 138 人(28.7%)、2年生が 164 人(34.1%)、3年生が 179 人(37.2%)となっています。

第３章　進路に関する中学生の意向

3-1. 中学校卒業後の進路希望

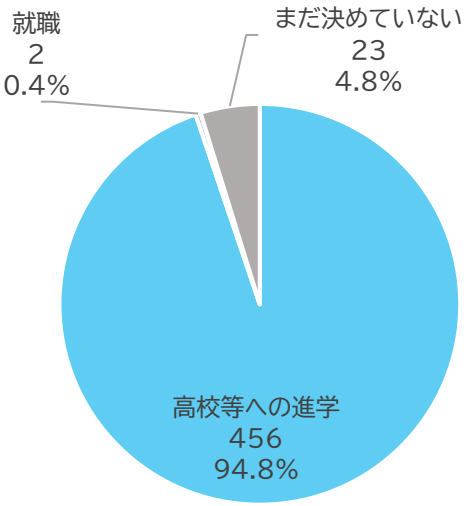
設問3

「あなたは、中学校を卒業した後について、現時点でどのような進路を希望していますか」

（n＝481）

選択肢	回答数	構成比
高校等への進学	456	94.8%
就職	2	0.4%
まだ決めていない	23	4.8%
合計	481	100.0%

※「高校等」とは高等学校、高等専門学校、高等部をおく特別支援学校等を含みます。



・ほとんどの中学生が「高校等への進学」を希望

中学校卒業後の進路希望については、全体の 94.8%である 456 人が「高校等への進学」と回答しました。中学生のほとんどが高校等への進学を希望していることがわかります。

「就職」は 2 人（0.4%）と少数でしたが、「まだ決めていない」は 23 人（4.8%）と一定数の回答数がありました。

次章では、高校等への進学を希望する中学生を中心に、進路をまだ決めていない中学生の一部も対象として、高校選びで重視することや魅力ある高校の条件、進学先に関する意向等を分析します。

第 4 章　高校選択に関する中学生の意向

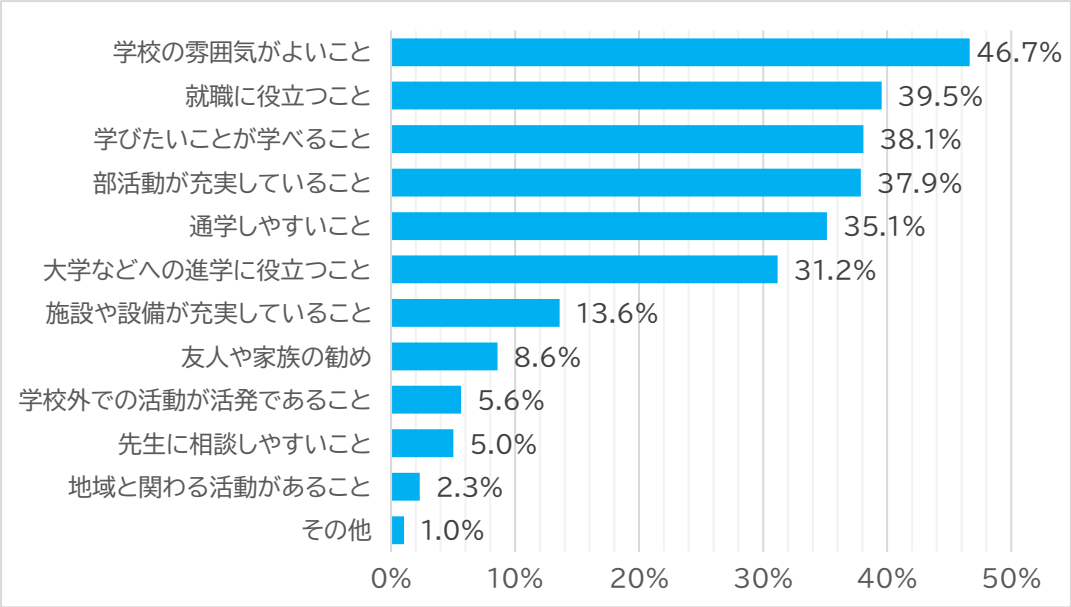
4-1. 高校選びにおいて重視すること

設問4

「あなたが高校を選ぶとしたとき、特に重視することは何ですか。最大3つまで選んでください」

（n＝478）

選択肢	回答数	選択率
学校の雰囲気がよいこと	223	46.7%
就職に役立つこと	189	39.5%
学びたいことが学べること	182	38.1%
部活動が充実していること	181	37.9%
通学しやすいこと	168	35.1%
大学などへの進学に役立つこと	149	31.2%
施設や設備が充実していること	65	13.6%
友人や家族の勧め	41	8.6%
学校外での活動が活発であること	27	5.6%
先生に相談しやすいこと	24	5.0%
地域と関わる活動があること	11	2.3%
その他	5	1.0%



※設問3で「高校等への進学」もしくは「まだ決めていない」と回答した 479 人のうち未回答 1 人を除く、478 人が対象

※複数回答制であるため、選択率の合計は 100%を超える
※その他回答の内訳
①友達が行くところ②医療、福祉、介護について学べるところ③都会に高校があること、高校の登下校時に楽しめるかどうか、子供に対しての娯楽施設、ショッピングモールなどが近くにあり、簡単に行けるか④友達や他校との関わり⑤いとこが行っているから

・「学校の雰囲気」を重視する回答が最も多いが、重視する条件は多岐にわたる

高校選びで特に重視することについては、「学校の雰囲気がよいこと」が 223 人(46.7%)で最も多く選ばれました。

次いで、「就職に役立つこと」が 189 人(39.5%)、「学びたいことが学べること」が 182 人(38.1%)、「部活動が充実していること」が 181 人(37.9%)と続き、中学生が高校選びで重視する条件が多岐にわたることが分かります。

・通学のしやすさや、進学に役立つかどうかも重要

また、「通学しやすいこと」(168 人、35.1%)や「大学などへの進学に役立つこと」(149 人、31.2%)も3割を超える中学生から選ばれており、通学の利便性や進学準備を重視する中学生も一定数存在しています。

一方で、「施設や設備が充実していること」(65 人、13.6%)や「友人や家族の勧め」(41 人、8.6%)、「学校外での活動が活発であること」(27 人、5.6%)、「先生に相談しやすいこと」(24 人、5.0%)、「地域と関わる活動があること」(11 人、2.3%)は比較的少数にとどまりました。

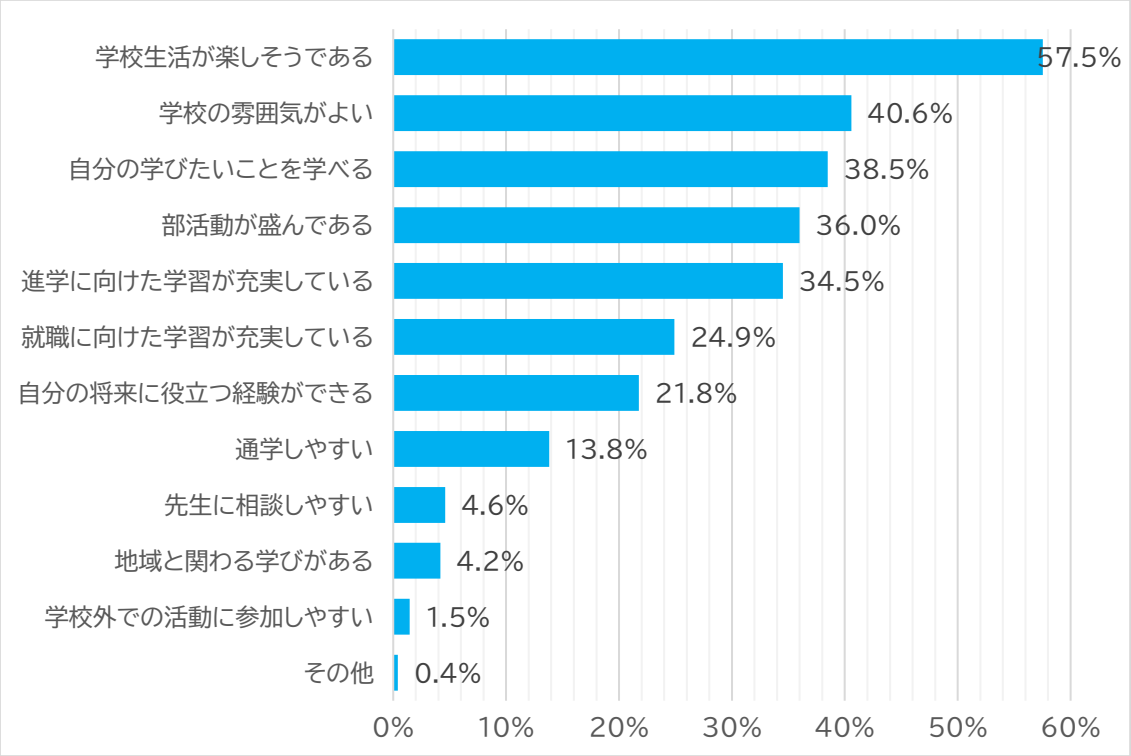
4-2. 中学生が考える魅力ある高校の条件

設問5
「あなたは、魅力のある高校とは、どのような高校だと思いますか。最大3つまで選んでください」

(n=478)

選択肢	回答数	選択率
学校生活が楽しそうである	275	57.5%
学校の雰囲気がよい	194	40.6%
自分の学びたいことを学べる	184	38.5%
部活動が盛んである	172	36.0%
進学に向けた学習が充実している	165	34.5%
就職に向けた学習が充実している	119	24.9%
自分の将来に役立つ経験ができる	104	21.8%
通学しやすい	66	13.8%
先生に相談しやすい	22	4.6%

地域と関わる学びがある	20	4.2%
学校外での活動に参加しやすい	7	1.5%
その他	2	0.4%



※設問3で「高校等への進学」もしくは「まだ決めていない」と回答した 479 人のうち、未回答 1 人を除く 478 人が対象

※複数回答制であるため、選択率の合計は 100%を超える

※その他回答の内訳

①都会にあり高校にいるときや登下校時、放課後でも楽しく過ごせるかどうか。②校則がある程度自由

・魅力ある高校の条件は、「学校生活が楽しそうである」ことが最も多い

中学生が考える「魅力ある高校」については、「学校生活が楽しそうである」が 275 人（57.5%）で最も多く選ばれました。次いで、「学校の雰囲気がよい」が 194 人（40.6%）、「自分の学びたいことを学べる」が 184 人（38.5%）と続き、中学生は高校生活の楽しさや雰囲気の良さを魅力的な高校の条件として考えていることが分かります。

・「部活動」や「進学に向けた学習」も比較的多い

また、「部活動が盛んである」（172 人、36.0%）や「進学に向けた学習が充実している」（165 人、34.5%）も約3割から選ばれており、学校生活の充実や将来の進路準備に関する項

目も魅力的な高校の要素として重要視する中学生も多いことがわかります。

同様に、「就職に向けた学習が充実している」（119 人、24.9%）や「自分の将来に役立つ経験ができる」（104 人、21.8%）といった項目も、一定の支持を得ています。

その他の選択肢では、「通学しやすい」（66 人、13.8%）、「先生に相談しやすい」（22 人、4.6%）、「地域と関わる学びがある」（20 人、4.2%）、「学校外での活動に参加しやすい」（7 人、1.5%）は比較的少数にとどまりました。

これらのことから、中学生が考える「魅力的な高校」とは、学校生活の楽しさや雰囲気の良さを中心に、自分の学びたいことが学べる環境や、部活動や進学準備の充実が重要な条件であることが分かります。

一方で、進路準備や実践的な経験を重視する層も一定数存在しています。

また、通学の利便性や地域との関わり、先生との相談のしやすさといった条件は、回答数が比較的少ないものの、これらを重要視する中学生もいることがわかりました。

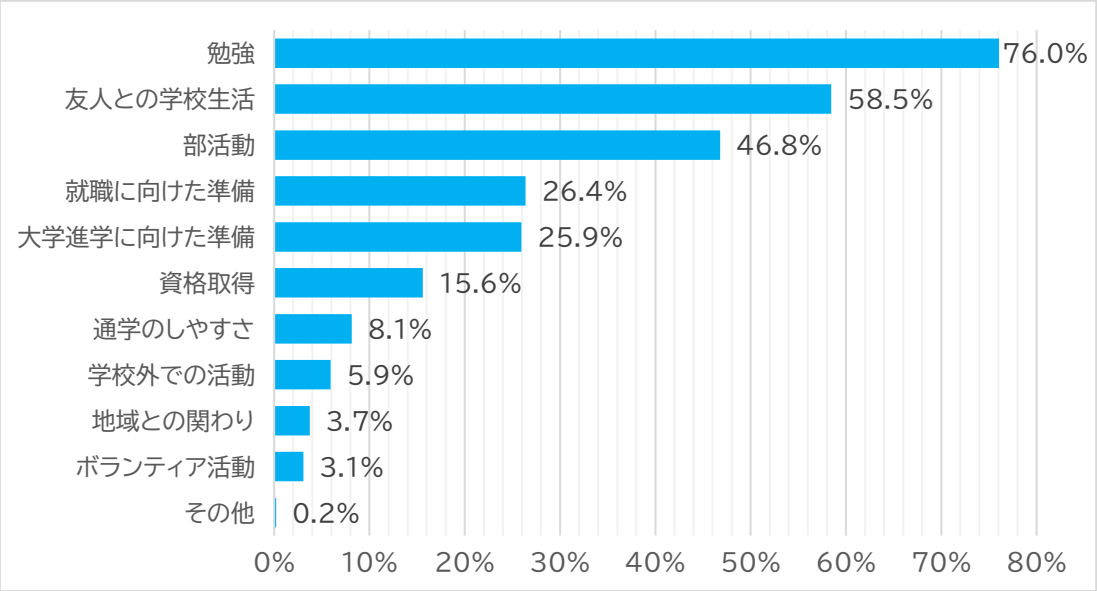
4-3. 高校生活で大切にしたいこと

設問6

「あなたは、高校生活においてどのようなことを大切にしたいですか。最大3つまで選んでください」

（n＝455）

選択肢	回答数	選択率
勉強	346	76.0%
友人との学校生活	266	58.5%
部活動	213	46.8%
就職に向けた準備	120	26.4%
大学進学に向けた準備	118	25.9%
資格取得	71	15.6%
通学のしやすさ	37	8.1%
学校外での活動	27	5.9%
地域との関わり	17	3.7%
ボランティア活動	14	3.1%
その他	1	0.2%



※設問3で「高校等への進学」を選択した 456 人のうち未回答 1 人を除く 455 人が対象
※複数回答制であるため、選択率の合計は 100%を超える
※その他回答の内訳
①遊び

・高校生活で大切にしたいことは「勉強」が突出。「友人との学校生活」、「部活動」も多い

高校生活で大切にしたいことについては、「勉強」が 346 人(76.0%)と突出して多くの中学生が選択しました。

次いで、「友人との学校生活」が 266 人(58.5%)、「部活動」が 213 人(46.8%)と続き、これら 3 つが多くの中学生にとって高校生活で大切にしたいことであるといえます。

一方で、「就職に向けた準備」(120 人、26.4%)や「大学進学に向けた準備」(118 人、25.9%)も比較的多数から選ばれており、将来の進路を見据えた活動を大切にしたいと考える中学生も一定数いることがうかがえます。

「資格取得」(71 人、15.6%)も比較的多く選択されており、具体的なスキルや資格を得ることを重視したいと考えている中学生もいます。

その他の選択肢では、「通学のしやすさ」(37 人、8.1%)、「学校外での活動」(27 人、5.9%)、「地域との関わり」(17 人、3.7%)、「ボランティア活動」(14 人、3.1%)は比較的少数にとどまりました。

これらのことから、中学生は学業や学校内での活動を中心に高校生活を考えていることが分かります。

勉強や部活動、友人との学校生活が大切にされる一方で、進路準備や資格取得を重視する中学生も一定数いることがうかがえます。

また、地域や学校外との関わりやボランティア活動といった選択肢は他の項目と比べて選択率が低い結果となりましたが、少数ながらこれらを大切にしたいと考える中学生もいます。

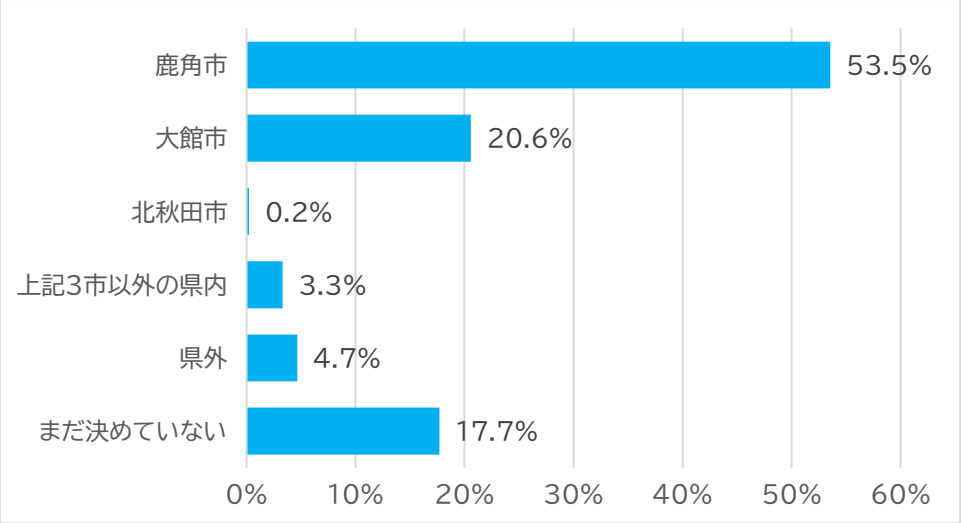
4-4. 進学を希望する高校等の場所

設問 7

「進学を希望する高校等の場所について、現時点で第一志望として考えている高校等がある場所を1つだけ選んでください」

（n＝452）

選択肢	回答数	構成比
鹿角市	242	53.5%
大館市	93	20.6%
北秋田市	1	0.2%
上記3市以外の県内	15	3.3%
県外	21	4.7%
まだ決めていない	80	17.7%
合計	452	100.0%



※設問3で「高校等への進学」と回答した456 人のうち、未回答 4 人を除く 452 人が対象

<u>・鹿角市を希望する中学生が過半数を占めるが、大館市希望も一定数いる</u>

進学を希望する高校等のある場所については、地元である「鹿角市」が 242 人（53.5%）で過半数を占めました。

一方で、「大館市」も 93 人（20.6%）で一定数あり、「北秋田市」（1 人、0.2%）や「上記 3 市以外の県内」（15 人、3.3%）、「県外」（21 人、4.7%）を含めた市外の高校への進学を希望する中学生は 28.8%で全体の約 3 割にのぼり、地元以外の選択肢を検討している中学生も一定数存在することが分かりました。

また、「まだ決めていない」という未定層も 80 人（17.7%）と比較的多く、進学先の選択に迷いがある中学生が一定数いることがうかがえます。

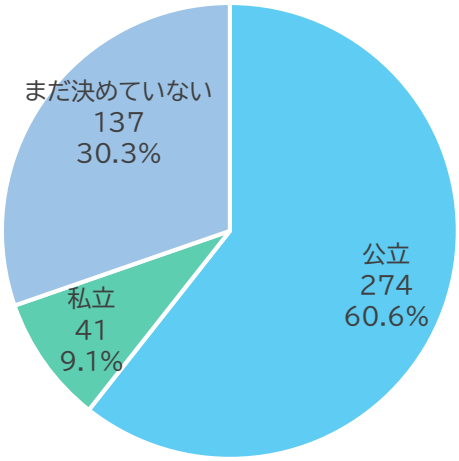
4-5. 進学を希望する高校等の種類

設問8

「進学を希望する高校等の種類」

（n=452）

選択肢	回答数	構成比
公立	274	60.6%
私立	41	9.1%
まだ決めていない	137	30.3%
合計	452	100.0%



※設問3で「高校等への進学」と回答した456 人のうち、未回答 4 人を除く 452 人が対象

進学を希望する高校等の種類については、「公立」が 274 人（60.6%）で最も多く、全体の約 6 割を占めました。

次いで、「私立」が 41 人（9.1%）であり、「まだ決めていない」は 137 人（30.3%）でした。

このことから、現時点では公立高校を希望する中学生が中心でありつつも、まだ決めかねている中学生も一定数いることが分かります。

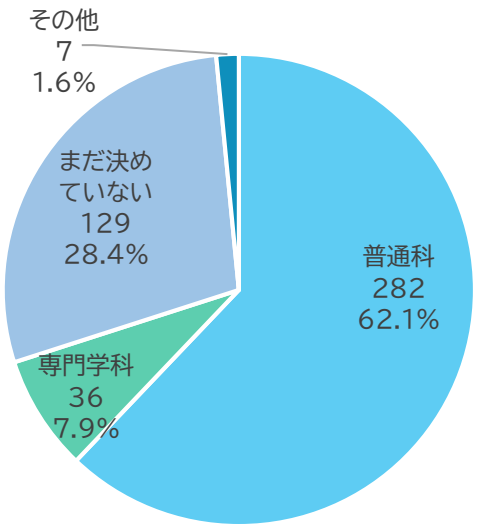
4-6. 進学を希望する高校等の学科

設問9

「進学を希望する高校等の学科」

（n=454）

選択肢	回答数	構成比
普通科	282	62.1%
専門学科	36	7.9%
まだ決めていない	129	28.4%
その他	7	1.6%
合計	454	100.0%



※設問3で「高校等への進学」と回答した456 人のうち、未回答 2 人を除く 454 人が対象

※その他回答の内訳

理数科（3 件）、薬学部、国際科、スポーツ科、市内支援学校

・進学を希望する高校等の学科は普通科が中心

進学を希望する高校等の学科については、「普通科」が 282 人（62.1%）で最も多く、全体の 6 割を占めました。次に多かったのが「まだ決めていない」で 129 人（28.4%）と約 3 割でした。

第 5 章 就職を希望する中学生の意向

5-1. 就職を希望する地域

設問10

「あなたは、どの地域での就職を希望しますか。現時点での考えに最も近いものを1つ選んでください。」

（n＝2）

選択肢	回答数
鹿角市内	0
鹿角市以外の県内	0
県外	0
まだ決めていない	2
合計	2

就職を希望する地域については、就職を希望する中学生 2 人の回答はいずれも「まだ決めていない」でした。

このことから、回答数は 2 件と少ないため傾向を一般化することはできませんが、就職を希望している中学生においても、現時点では就職先の地域まで具体的にイメージできていない状況がうかがえます。

5-2. その地域での就職を希望する理由

設問 11

「その地域での就職を希望する理由として、現時点での考えに最も近いものを1つ選んでください。」

（n＝2）

選択肢	回答数
家族の近くで働きたい	0
その地域に貢献したい	0
希望する仕事や職場がある	0
給与や待遇を重視したい	0
都市部で生活したい	0
早く働きたい	0
まだよくわからない	2
合計	2

設問 10 で回答した地域を希望する理由については、2 人とも「まだよくわからない」と回答しました。

設問 10 と同様に回答数が 2 件と少ないため傾向を一般化することはできませんが、就職を希望している中学生であっても、就職先の地域やその理由については、現時点で明確な考えを持つまでには至っていないことがうかがえます。

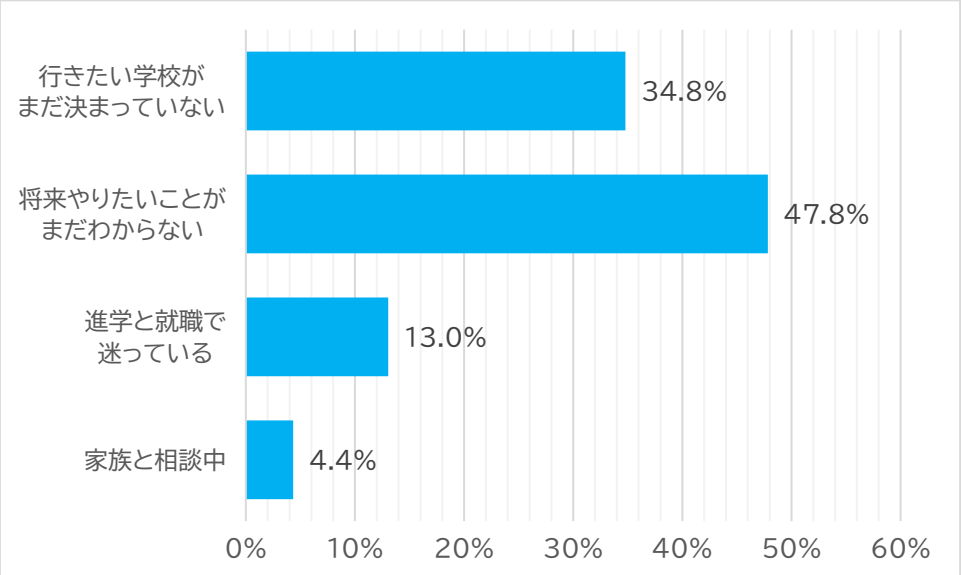
第 6 章　進路未定の理由

6-1. 進路をまだ決めていない理由

設問12「進路をまだ決めていない理由について、現時点の考えに最も近いものを一つ選択」

（n=23）

選択肢	回答数	構成比
行きたい学校がまだ決まっていない	8	34.8%
将来やりたいことがまだわからない	11	47.8%
進学と就職で迷っている	3	13.0%
家族と相談中	1	4.4%
合計	23	100.0%



・進路未定の理由は「将来やりたいことがまだわからない」が最も多い

設問 12 では、設問3で希望する進路について「まだ決めていない」と回答した 23 人に対し、「進路をまだ決めていない理由」について伺いました。

進路をまだ決めていない理由としては、「将来やりたいことがまだわからない」が 11 件（47.8%）と最も多く、次いで、「行きたい学校がまだ決まっていない」が 8 件（34.8%）、「進学と就職で迷っている」が 3 件（13.0%）となりました。「家族と相談中」は 1 件（4.4%）でした。

回答数は 23件と少ないため傾向を一般化することはできませんが、これらのことから、中学生が進路をまだ決めていない理由としては、将来の目標や希望がまだ明確になっていないことや進学先の学校選びに迷っていることが要因となっている可能性があるといえます。

また、家族との相談を進めている中学生や進学と就職に迷っている中学生も少数ながら存在しており、それぞれに異なる背景や事情があることが読み取れます。

第 7 章 自由記述の分析

7-1. 自由記述の分類方法

設問13の自由記述については、45 件の回答がありました。

それぞれ記述内容を確認し、主な意見を内容ごとに分類しました。1 つの記述に複数の内容が含まれる場合は、それぞれの内容に応じて複数の分類に整理しています。

7-2. 自由記述の分類と意見の件数

設問 13

「進路や高校選びについて、不安なことやわからないことがあれば自由に書いてください」

（回答件数＝45 件）

分類	延べ件数
進路選択・学力・受験	20
学校の特色・学び・情報	12
学校生活・雰囲気・人間関係	9
通学・交通手段	3
家庭事情・費用・一人暮らし	2
部活動・課外活動	1
学校のルール・支援体制	1

※自由記述 45 件を内容別に分類したものであり、1 件の回答を複数分類している場合があります。

※意見には不安、期待、要望、提案、受け止めなどを含みます。

7-3. 自由記述から見える主な傾向

自由記述 45 件を内容別に分類したところ、以下のような傾向がみられました。

なお、1 つの回答に複数の内容が含まれる場合があるため、分類件数は延べ件数として集計しています。

・「進路選択・学力・受験」に関する意見が最多

自由記述のなかでは「進路選択・学力・受験」に関する記述が最も多くみられました。

具体的には、「入学できるか」「偏差値や推薦基準が気になる」といった受験・成績面の不安に加え、「高校の授業についていけるか」といった進学後の学習への不安も多くみられました。

また、「いつまでに高校を決めればよいか」「学科をどう選べばよいか」「やりたいことがまだ見つかっていない」といった、進路選択そのものに対する迷いもありました。

これらのことから、中学生の不安は、受験時の合否だけでなく、高校入学後の学習への適応や、自分に合った進路をどのように選べばよいかという見通しの持ちにくさにも及んでいるこ

とがうかがえます。

・「学校の特色・学び・情報」と「学校生活・雰囲気・人間関係」に関する意見も多い

「学校の特色・学び・情報」や「学校生活・雰囲気・人間関係」に関する内容も多くみられました。

具体的には、「医療・福祉、介護について学べる学校があるか」「普通科と産業工学科の違いが分からない」「公立と私立と国立の違いが分からない」といった、学科や学校の違いに関する情報を求める意見がみられました。

あわせて、「どの高校に入れば自分の夢に近づけるのか」「どんな学校が安定した就職につながるのか」といった、進学先の特色と自分の将来とのつながりを知りたいという声もみられました。

また、学校生活に関しては、「友人が同じ高校に来るか」「友人ができるか」「みんなと離れて一人になってしまうのが怖い」「友達との関わり方が不安」といった、人間関係や高校生活になじめるかどうかへの不安がみられました。

さらに、「自分に合った高校なのか」「満足できる学校生活を送れるか」「自分の性について理解のある学校かどうかが不安」といった、学校の雰囲気や受け入れ環境に関する意見もみられました。

これらのことから、中学生は、進路選択にあたり、学科や学校の違い、将来の進路とのつながりといった情報を求めているだけでなく、入学後に安心して学校生活を送れるか、人間関係の中でなじめるかという点も不安視していることがうかがえます。

・少数だが通学に関する不安や、部活動や学校のルールに関する意見もある

件数は少ないものの、「花輪線での通学に関する不安」「冬季に電車が止まることへの心配」「県外進学時の一人暮らしへの不安」などの通学・生活に関する意見がみられました。

また、「特定の部活動が強い高校がどこか知りたい」「留年の仕組みがわからず不安」といった部活動や学校のルールに関する意見も確認されています。

これらのことから、中学生にとっては、学びや受験だけでなく、通学条件や生活面、学校のルールといった側面も進路選択において重要な判断材料となっていることがうかがえます。

※自由記述については、巻末資料として掲載します。ただし、個別事案や事実確認の必要な内容の意見、個人の特定につながる可能性のある意見については意見の趣旨を損なわない範囲で表現を調整し掲載するか、非掲載とさせていただきます。

第 8 章　クロス集計による補足分析

主要な設問において、学年別及び進学希望地域別の傾向を比較分析します。

なお、学年別及び進学希望地域別の比較分析は、各設問の全体選択率上位6項目までの選択肢について、単一回答設問については全選択肢について行うものとします。

8-1. 学年別にみた傾向

(1)学年別にみた高校選びで重視すること

選択肢	全体（n=478）		1 年生（n=136）		2 年生（n=163）		3 年生（n=179）	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
学校の雰囲気がよいこと	46.7%	1 位	45.6%	3 位	46.0%	1 位	48.0%	1 位
就職に役立つこと	39.5%	2 位	47.1%	2 位	40.5%	2 位	33.0%	5 位
学びたいことが学べること	38.1%	3 位	49.3%	1 位	36.2%	4 位	31.3%	6 位
部活動が充実していること	37.9%	4 位	35.3%	4 位	38.0%	3 位	39.7%	3 位
通学しやすいこと	35.1%	5 位	29.4%	5 位	36.2%	4 位	38.5%	4 位
大学などへの進学に役立つこと	31.2%	6 位	22.8%	6 位	27.6%	6 位	40.8%	2 位

※設問 3 で「高校等への進学」、もしくは「まだ決めていない」と回答した 479 人のうち、未回答 1 人を除く 478 人が対象

・3 年生では、大学等への進学や通学に関する項目の選択率が比較的高い

高校選びで重視することについて学年別にみると、「学校の雰囲気がよいこと」は、各学年で 45～48%程度と高く、学年を問わず共通して重視されていました。

一方、1 年生では「学びたいことが学べること」(49.3%)と「就職に役立つこと」(47.1%)が 2･3 年生より高く、3 年生では「大学などへの進学に役立つこと」(40.8%)と「通学しやすいこと」(38.5%)が 1･2 年生より高い結果となりました。

このことから、高校の雰囲気は全学年に共通する重要な条件である一方、学びや進路、通学に関する項目には学年間の違いがみられました。なお、本調査は同一生徒を継続して調査したものではないため、調査時点における学年間の差として捉える必要があります。

(2)学年別にみた魅力ある高校の条件

選択肢	全体（n=478）		1 年生（n=136）		2 年生（n=163）		3 年生（n=179）	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
学校生活が楽しそうである	57.5%	1 位	55.1%	1 位	61.3%	1 位	55.9%	1 位
学校の雰囲気がよい	40.6%	2 位	38.2%	3 位	42.3%	2 位	40.8%	3 位
自分の学びたいことを学べる	38.5%	3 位	44.1%	2 位	33.7%	4 位	38.5%	4 位

部活動が盛んである	36.0%	4 位	36.8%	4 位	35.0%	3 位	36.3%	5 位
進学に向けた学習が充実している	34.5%	5 位	33.8%	5 位	27.0%	5 位	41.9%	2 位
就職に向けた学習が充実している	24.9%	6 位	27.9%	6 位	24.5%	6 位	22.9%	6 位

※設問 3 で「高校等への進学」、もしくは「まだ決めていない」と回答した 479 人のうち、未回答 1 人を除く 478 人が対象

・魅力的な高校の条件については、「学校生活が楽しそう」が全学年共通して 1 位

設問 5「魅力ある高校とは」について学年別にみると、全学年で「学校生活が楽しそうである」が最も重視されており、1 年生では 55.1%、2 年生では 61.3%、3 年生でも 55.9%と全学年共通して高い選択率を示しています。「学校の雰囲気がよい」も各学年で 38.2～42.3%となっており、比較的高い選択率となりました。

一方、1 年生では自分の関心に合った学び、3 年生では進学に向けた学習の充実を重視する割合が比較的高いなど、学びに関する項目には学年間の違いがみられました。

なお、本調査は同一の生徒を継続して調査したものではないため、学年進行に伴う変化ではなく、調査時点における学年間の差として捉える必要があります。

(3)学年別に見た高校生活で大切にしたいこと

選択肢	全体（n=455）		1 年生（n=124）		2 年生（n=157）		3 年生（n=174）	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
勉強	76.0%	1 位	74.2%	1 位	77.7%	1 位	75.9%	1 位
友人との学校生活	58.5%	2 位	48.4%	2 位	64.3%	2 位	60.3%	2 位
部活動	46.8%	3 位	45.2%	3 位	49.0%	3 位	46.0%	3 位
就職に向けた準備	26.4%	4 位	36.3%	4 位	24.8%	4 位	20.7%	5 位
大学進学に向けた準備	25.9%	5 位	22.6%	5 位	24.8%	4 位	29.3%	4 位
資格取得	15.6%	6 位	11.3%	6 位	15.3%	6 位	19.0%	6 位

※設問 3 で「高校等への進学」を選択した 456 人のうち、未回答 1 人を除く 455 人が対象

・上位 3 項目は全学年で共通する一方、一部の項目には学年差がみられる

設問 6「高校生活で大切にしたいこと」について学年別にみると、全学年で「勉強」が 1 位、「友人との学校生活」が 2 位、「部活動」が 3 位となり、上位 3 項目は共通していました。

一方、「友人との学校生活」は 1 年生 48.4%に対し、2 年生 64.3%、3 年生 60.3%と、2・3 年生で高い結果となりました。また、「就職に向けた準備」は 1 年生が 36.3%で最も高く、「大学進学に向けた準備」と「資格取得」は 3 年生で最も高くなっています。

このことから、高校生活で重視する中心的な項目は学年を通じて共通する一方、学校生活や進路準備に関する一部の項目には学年間の違いがみられました。

なお、これらは調査時点における学年間の差であり、学年進行に伴う変化を示すものではありません。

(4)学年別にみた進学を希望する高校等の場所

選択肢	全体（n=452）		1年生（n=123）		2年生（n=157）		3年生（n=172）	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
鹿角市	53.5%	1位	52.0%	1位	54.8%	1位	53.5%	1位
大館市	20.6%	2位	14.7%	3位	21.0%	2位	24.4%	2位
まだ決めていない	17.7%	3位	28.5%	2位	16.6%	3位	11.0%	3位
県外	4.7%	4位	2.4%	4位	5.1%	4位	5.8%	4位
上記3市以外の県内	3.3%	5位	2.4%	4位	2.5%	5位	4.7%	5位
北秋田市	0.2%	6位	0.0%	6位	0.0%	6位	0.6%	6位

※設問3で「高校等への進学」を選択した456人のうち、未回答4人を除く452人が対象

・鹿角市希望の割合は各学年5割強である一方、未定層の割合には学年差がみられる

設問 7「進学を希望する高校等の場所」について学年別にみると、「鹿角市」は 1 年生 52.0%、2 年生 54.8%、3 年生 53.5%で、各学年とも 5 割強となりました。

一方、「まだ決めていない」は、1 年生 28.5%、2 年生 16.6%、3 年生 11.0%で、上級学年ほど低い結果でした。また、「大館市」は1年生14.7%、2年生21.0%、3年生24.4%で、上級学年ほど高い結果でした。

このことから、鹿角市を希望する割合は学年間で概ね共通する一方、進学希望地域の未定者や大館市を希望する割合には学年間の違いがみられました。なお、本調査は同一生徒を継続して調査したものではないため、学年進行に伴う変化ではなく、調査時点における学年間の差として捉える必要があります。

8-2. 進学希望地域別にみた傾向

(1)進学希望地域別にみた高校選びで重視すること

選択肢	全体 (n=452)		鹿角市 (n=242)		大館市 (n=93)		北秋田市 (n=1)		上記３市以外 (n=15)		県外 (n=21)		まだ決めていない (n=80)	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
学校の雰囲気がよいこと	46.5%	1位	44.6%	2位	41.9%	3位	0.0%	-	40.0%	4位	42.9%	2位	60.0%	1位
就職に役立つこと	39.8%	2位	40.5%	4位	45.2%	2位	100%	1位	46.7%	1位	19.0%	5位	35.0%	4位
学びたいことが学べること	38.5%	3位	31.8%	5位	41.9%	3位	0.0%	-	33.3%	5位	38.1%	3位	56.3%	2位
部活動が充実していること	38.3%	4位	40.9%	3位	21.5%	5位	100%	1位	46.7%	1位	66.7%	1位	40.0%	3位
通学しやすいこと	34.5%	5位	49.2%	1位	21.5%	5位	100%	1位	20.0%	6位	4.8%	8位	15.0%	6位
大学などへの進学に役立つこと	32.3%	6位	18.2%	6位	65.6%	1位	0.0%	-	46.7%	1位	28.6%	4位	35.0%	4位

※設問３で「高校等への進学」を選択した 456 人のうち、未回答４人を除く 452 人が対象

※「上記３市以外の県内(n=15)」、「県外(n=21)」は回答者数が少ないため参考値として扱います。「北秋田市」は n=1 であるため、割合は１人の回答を示すものであり、傾向を表すものではありません。

・進学希望地域によって、高校選びで重視する項目には違いがみられる

進学希望地域別に「高校選びで重視すること」を比較すると、希望する進学地域ごとに重視する項目に違いがみられます。

鹿角市内の高校等を希望する中学生では、「通学しやすいこと」が 49.2%で最も高く、次いで「学校の雰囲気がよいこと」が 44.6%、「部活動が充実していること」が 40.9%となりました。このことから、鹿角市希望層では、通学のしやすさに加え、学校の雰囲気や部活動の充実が重視されていることがうかがえます。

一方、大館市内の高校等を希望する中学生では、「大学などへの進学に役立つこと」が 65.6%で最も高く、次いで「就職に役立つこと」が 45.2%となりました。また、「学校の雰囲気がよいこと」と「学びたいことが学べること」は、いずれも 41.9%でした。大館市希望層では、大学等への進学とのつながりが特に重視されるとともに、就職への有用性や学びたい内容も比較的重視されていることがうかがえます。

また、進学希望地域を「まだ決めていない」とした中学生では、「学校の雰囲気がよいこと」が 60.0%で最も高く、「学びたいことが学べること」も 56.3%と高い結果でした。このことから、未定層では、学校の雰囲気と学びの内容の双方が、進学先の地域や学校を検討する上で重

要な要素となっていることがうかがえます。

なお、「北秋田市」「上記 3 市以外の県内」「県外」は回答者数が少ないため、表中の数値は参考値として扱い、結果の解釈には留意する必要があります。

(2)進学希望地域別にみた魅力ある高校の条件

選択肢	全体 (n=452)		鹿角市 (n=242)		大館市 (n=93)		北秋田市 (n=1)		上記 3 市以外 (n=15)		県外 (n=21)		まだ決めていない (n=80)	
	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位	選択率	順位
学校生活が楽しそうである	57.5%	1 位	57.9%	1 位	54.8%	2 位	0.0%	-	46.7%	3 位	71.4%	1 位	58.8%	1 位
学校の雰囲気がよい	40.9%	2 位	43.4%	2 位	39.8%	4 位	0.0%	-	46.7%	3 位	42.9%	3 位	33.8%	4 位
自分の学びたいことを学べる	38.9%	3 位	32.2%	4 位	43.0%	3 位	100%	1 位	60.0%	1 位	33.3%	4 位	51.3%	2 位
部活動が盛んである	36.7%	4 位	38.0%	3 位	24.7%	6 位	100%	1 位	53.3%	2 位	52.4%	2 位	38.8%	3 位
進学に向けた学習が充実している	35.0%	5 位	28.5%	5 位	60.2%	1 位	0.0%	-	26.7%	5 位	19.0%	6 位	31.3%	5 位
就職に向けた学習が充実している	25.2%	6 位	27.7%	6 位	22.6%	7 位	100%	1 位	26.7%	5 位	9.5%	7 位	23.8%	6 位

※設問 3 で「高校等への進学」を選択した 456 人のうち、未回答 4 人を除く 452 人が対象

※「上記 3 市以外の県内(n=15)」、「県外(n=21)」は回答者数が少ないため参考値として扱います。「北秋田市」は n=1 であるため、割合は 1 人の回答を示すものであり、傾向を表すものではありません。

・「鹿角市」希望層と未定層には、共通点と相違点がみられる

「魅力的な高校の条件」について進学希望地域別にみると、地域によって重視する点に違いがみられます。

鹿角市内の高校等を希望する層と、進学希望地域を「まだ決めていない」とする層では、いずれも「学校生活が楽しそうである」が最も高く、「部活動が盛んである」の選択率もほぼ同程度でした。

一方、鹿角市希望層では「学校の雰囲気がよい」が 43.4%で 2 位であるのに対し、未定層では 33.8%で 4 位でした。また、「自分の学びたいことを学べる」は、鹿角市希望層の 32.2%に対し、未定層では 51.3%で 2 位となっています。

このことから、両層とも学校生活の楽しさを重視している点は共通する一方、未定層では自分の学びたい内容を重視する割合が高いなど、項目によって違いがみられました。

・「大館市」希望層では、進学に向けた学習の充実が最も重視される

一方、大館市内の高校等を希望する層では、「進学に向けた学習が充実している」が 60.2%で最も高く、次いで「学校生活が楽しそうである」が 54.8%、「自分の学びたいことを学べる」が 43.0%となりました。このことから、大館市希望層では、進学に向けた学習の充実を特に重視しつつ、学校生活の楽しさや学びたい内容も重視していることがうかがえます。

第 9 章 調査結果から見える鹿角高等学校魅力化に向けた今後の検討課題

第 2 章から第 8 章までの調査結果を踏まえると、中学生は高校選択にあたり、学校の雰囲気、学校生活の楽しさ、学びたいことが学べること、進学や就職に役立つこと、通学のしやすさなどを重視していることが分かりました。

また、進学を希望する高校等の場所については鹿角市が過半数を占める一方で、市外を希望する層や、進学先の種類・学科等をまだ決めていない層も一定数みられました。

これらの結果を踏まえ、本章では主として選択式設問の結果を基に、鹿角高等学校魅力化に向けた今後の検討課題を整理します。

9-1. 学校生活の魅力や雰囲気の見える化

高校選びで重視することとしては、「学校の雰囲気がよいこと」が最も多く選ばれました。

また、魅力ある高校の条件としては、「学校生活が楽しそうである」が最も多く、次いで「学校の雰囲気がよい」が上位となりました。

クロス分析では、設問 5 において全学年で「学校生活が楽しそうである」が最も多く選ばれました。また、「学校の雰囲気がよい」も各学年で約 4 割、設問 4 においても「学校の雰囲気がよいこと」が各学年で 45～48%程度となっており、学校生活の楽しさや雰囲気の良さは学年を通じて重視されていました。

また、進学希望地域別では「鹿角市」を希望する層が学校生活の楽しさや部活動の充実を重視している一方、「大館市」を希望する層は大学等への進学とのつながりや、進学に向けた学習の充実を重視する傾向が見られました。

このことから、中学生にとっては、卒業後の進路とのつながりや学科構成だけでなく、毎日の学校生活が前向きに送れそうか、安心して通えそうかという点が高校選択の重要な判断材料になっていると考えられます。

そのため、鹿角高等学校の魅力化においては、学校行事、日常の学校生活、生徒同士の関わり、教職員との関係性など、学校の雰囲気や高校生活の実際の様子が伝わる情報発信を更に強化することが課題といえます。

9-2. 学びの特色と進路とのつながりの明確化

高校選びで重視することとして、「就職に役立つこと」「学びたいことが学べること」「大学などへの進学に役立つこと」がいずれも上位に位置していました。

また、魅力ある高校の条件としても、「自分の学びたいことを学べる」「進学に向けた学習が充実している」「就職に向けた学習が充実している」が多く選ばれています。

クロス分析では「大館市」を希望する層が進学に向けた学習を最も重視していることが明らかとなり、大学等への進学に向けた学習・支援や学びの内容が地域選択において重要な判断材料となっていることがうかがえます。

このことから、中学生は高校に対して、高校生活の充実だけでなく、将来の進路につながる学びの内容や支援の具体性を求めていると考えられます。

そのため、鹿角高等学校の魅力化においては、学科・コースの特色、授業内容、資格取得、進学指導、就職支援などについて、「何を学ぶことができ、卒業後にどうつながるのか」が分かる形で明確に示していくことが課題となります。

9-3. 学習面・進路面の不安に応える支援の充実

高校生活で大切にしたいこととしては、「勉強」が突出して多く、次いで「友人との学校生活」「部活動」が続きました。

また、「就職に向けた準備」「大学進学に向けた準備」も一定数選ばれていました。

クロス分析では、全学年で学業を中心に据えた高校生活を重視する意向が共通してみられました。

このことから、中学生は高校生活において、学校生活全体の充実を望みつつも、特に学業を中心に据えた高校生活を重視したいと考えていることが分かります。

そのため、鹿角高等学校の魅力化においては、学習環境の充実や授業の分かりやすさ、進路希望に応じた学習支援の仕組みなどをどう打ち出すかが重要な課題といえます。

あわせて、学業と部活動、学校生活との両立が可能な学校であることを示していく視点も必要です。

9-4. 地元進学志向を踏まえた魅力向上と市外進学意向層への対応

進学を希望する高校等の場所については、「鹿角市」が 53.5%で最も多く、地元志向の高さがみられました。

一方で、「大館市」や「上記３市以外の県内」「県外」を合わせた市外進学を希望する層も28.8%と一定数存在しており、また、「まだ決めていない」も 17.7%みられました。

クロス分析の学年別集計では、鹿角市を希望する割合は各学年とも 5 割強で概ね一定でした。一方、進学希望地域を「まだ決めていない」とする割合は上級学年ほど低く、大館市を希望する割合は上級学年ほど高い結果でした。また、「大館市」を希望する層では卒業後の進路とのつながりを重視する傾向があり、進学先を比較検討する際の重要な判断材料となっていることがうかがえます。

このことから、鹿角市内に進学したいという意向を持つ層が中心である一方で、他地域の高校と比較しながら進学先を検討している中学生も少なくないことがうかがえます。

そのため、鹿角高等学校の魅力化においては、地元に進学したいと考える中学生に選ばれる学校であることに加え、他地域の高校と比較した際の強みや特色を明確にし、進路選択の候補としての魅力を高めることが課題といえます。

9-5. 進路・進学先に関する未決定層に届く情報提供の充実

進学を希望する高校等の種類については「公立」が最も多かったものの、「まだ決めていない」が 30.3%ありました。

また、希望する学科についても「普通科」が最も多い一方で、「まだ決めていない」が 28.4%を占めています。

さらに、中学卒業後の進路希望でも「まだ決めていない」が 4.8%おり、その理由としては「将来やりたいことがまだわからない」「行きたい学校がまだ決まっていない」が上位でした。

このことから、中学生の中には、進学自体は想定していても、高校の種類や学科、自分に合う進路の方向性をまだ具体化できていない層が一定数存在すると考えられます。

そのため、鹿角高等学校の魅力化においては、既に志望先を固めている層だけでなく、進路を検討中の層に対しても、学校の特色や学びの内容、卒業後の進路のイメージが伝わるよう、分かりやすく段階的な情報提供を行うことが課題となります。

第 10 章 本調査のまとめ

10-1. 調査結果の要点

(1)市内の中学生 577 人のうち 481 人から回答を得ました。回答率は 83.4%でした。

(2)中学卒業後の進路希望は 94.8%が「高校等への進学」と回答しており、中学生の進路希望は進学が中心といえます。

(3)中学生が高校選択で重視することでは「学校の雰囲気がよいこと」が最も多く、次いで「就職に役立つこと」、「学びたいことが学べること」、「部活動が充実していること」が上位となりました。

(4)中学生が考える魅力ある高校については、「学校生活が楽しそうである」が突出しており、次いで「学校の雰囲気がよい」、「自分の学びたいことを学べる」、「部活動が盛んである」、「進学に向けた学習が充実している」が上位でした。

(5)中学生が高校生活で大切にしたいことは「勉強」が突出して多く、次いで「友人との学校生活」、「部活動」が上位でした。また、「就職に向けた準備」や「大学進学に向けた準備」も一定数ありました。

(6)進学を希望する高校の所在地域は、「鹿角市」が 53.5%と過半数で最も多く、地元志向の中学生が多いことがわかりました。一方で、「大館市」など、市外を希望する層も 28.8%で約 3 割と少なくない割合で存在することがわかりました。また、「まだ決めていない」という未定層も17. 7%と一定数います。

(7)進学を希望する高校の種類については「公立」が 60.6%と 6 割を占めましたが、「まだ決めていない」も 30.3%でした。また、希望する学科についても「普通科」が 62.1%で最も多い結果でしたが、28.4%は「まだ決めていない」という状況でした。

(8)就職を希望する中学生は 2 人とごく少数で、かつ、就職を希望する場所や理由については決めかねている状況でした。

(9)進路をまだ決めていない層は 4.8%と全体の1割に満たないものの一定数おり、「将来やりたいことがまだわからない」や「行きたい学校が決まっていない」という理由が上位でした。

(10)クロス集計による補足分析では、各学年で共通する傾向がある一方、一部の項目には学年間の違いがみられました。上級学年ほど進学希望地域について「まだ決めていない」とする割合が低い傾向がみられました。また、進学希望地域別にみると、鹿角市希望層では通学のしやすさや学校生活の充実が重視される一方、大館市希望層では進学に向けた学習の充実が重視されるなど、希望地域によって重視する点に一定の違いがみられました。

10-2. 中学生の意向と課題

(1)中学生が高校選択において重視しているのは、学校の雰囲気や学校生活の楽しさといった日常の学校生活に関わる要素に加え、学びたいことが学べること、進学や就職に役立つことなど、将来の進路につながる学びの内容などです。

（2）高校生活において大切にしたいことは、「勉強」が最も重視されており、友人との学校生活や部活動とあわせて、学業を中心としながら充実した学校生活を送りたいという意向がうかがえます。

（3）進学先の所在地については鹿角市を希望する中学生が最も多い一方で、市外の高校を希望する層や、進学先の種類・学科をまだ決めていない層も一定数存在しています。なお、進学希望地域別にみると高校に求める条件には違いがみられており、地元の高校として選ばれるためには、他地域の高校と比較した際の特色や強みを明確に示していくことが検討課題として考えられます。

（4）進路未定層の割合は大きくはないものの一定数存在しており、将来の方向性や進学先の選択を具体化できていない中学生もみられます。また、1 年生では進学希望地域を「まだ決めていない」とする割合が 2・3 年生より高く、早い段階から進路選択を支える分かりやすい情報提供や相談の機会を設けることが重要と考えられます。

10-3. 今後の方向性

（1）鹿角高校の魅力化に向けて、以下の課題に取り組む必要があるといえます。

・学校の雰囲気や学校生活の魅力が中学生に伝わる情報発信の充実
・学びの特色と進路とのつながりが分かる教育内容の見える化
・学業を中心とした学習環境や進路支援体制の充実
・地元進学志向を踏まえた魅力向上と鹿角高校ならではの特色の明確化
・進路・進学先に関する未決定層にも届く分かりやすい情報提供の強化

（2）今後、鹿角高等学校魅力化ビジョン検討委員会やワークショップ等を通じ、具体的な取組の方向性について検討を進めます。

資料

設問一覧

Q1. あなたの所属する中学校を教えてください。

☐ 花輪 ☐ 十和田 ☐ 尾去沢 ☐ 八幡平

Q2. あなたの学年を教えてください。

☐ 1年生 ☐ 2年生 ☐ 3年生

Q3. あなたは、中学校を卒業した後について、現時点でどのような進路を希望していますか。

☐ 高校等への進学 →設問4へ
☐ 就職 →設問10へ
☐ まだ決めていない →設問4へ

Q4. あなたが高校を選ぶとしたとき、特に重視することは何ですか。(最大3つまで選んでください)

☐ 大学などへの進学に役立つこと
☐ 就職に役立つこと
☐ 学びたいことが学べること
☐ 部活動が充実していること
☐ 学校の雰囲気がよいこと
☐ 先生に相談しやすいこと
☐ 通学しやすいこと
☐ 施設や設備が充実していること
☐ 地域と関わる活動があること
☐ 学校外での活動が活発であること
☐ 友人や家族の勧め
☐ その他

Q5. あなたは、魅力ある高校とは、どのような高校だと思いますか。(最大3つまで選んでください)

☐ 進学に向けた学習が充実している
☐ 就職に向けた学習が充実している
☐ 自分の学びたいことを学べる
☐ 部活動が盛んである

☐ 学校生活が楽しそうである
☐ 学校の雰囲気がよい
☐ 先生に相談しやすい
☐ 通学しやすい
☐ 地域と関わる学びがある
☐ 学校外での活動に参加しやすい
☐ 自分の将来に役立つ経験ができる
☐ その他

Q6. あなたは、高校生活においてどのようなことを大切にしたいですか。（最大3つまで選んでください）

☐ 勉強
☐ 大学進学に向けた準備
☐ 就職に向けた準備
☐ 資格取得
☐ 部活動
☐ 友人との学校生活
☐ 地域との関わり
☐ ボランティア活動
☐ 学校外での活動
☐ 通学のしやすさ
☐ その他

Q7. 進学を希望する高校等の場所（現時点で第一志望として考えている高校等がある場所を1つだけ選んでください）

☐ 鹿角市
☐ 大館市
☐ 北秋田市
☐ 上記3市以外の県内
☐ 県外
☐ まだ決めていない

Q8. 進学を希望する高校等の種類

☐ 公立
☐ 私立
☐ まだ決めていない

Q9. 進学を希望する高校等の学科

☐ 普通科
☐ 専門学科
☐ まだ決めていない
☐ その他

Q10. あなたは、どの地域での就職を希望しますか。（現時点での考えに最も近いものを1つ選んでください）

☐ 鹿角市内
☐ 鹿角市以外の県内
☐ 県外
☐ まだ決めていない

Q11. その地域での就職を希望する理由。（現時点での考えに最も近いものを 1 つ選んでください）

☐ 家族の近くで働きたい
☐ その地域に貢献したい
☐ 希望する仕事や職場がある
☐ 給与や待遇を重視したい
☐ 都市部で生活したい
☐ 早く働きたい
☐ まだよくわからない

Q12.進路をまだ決めていない理由。（現時点での考えに最も近いものを1つえらんでください）

☐ 行きたい学校がまだ決まっていない
☐ 将来やりたいことがまだわからない
☐ 進学と就職で迷っている
☐ 家族と相談中

Q13.進路や高校選びについて、不安なことやわからないことがあれば自由に書いてください。

自由記述意見(設問 13 の回答) 一覧

※個別事案や事実確認の必要な内容の意見、個人の特定につながる可能性のある意見については意見の趣旨を損なわない範囲で表現を調整し掲載するか、非掲載とさせていただいております。

1	みんなと離れて一人になってしまうかもしれないのが少し怖いです。
2	わからないこと(理解ができない)ときにどう思われるのかが気になる
3	一対一で勉強できてレベルの高い仕事でも就職できそうな学校が秋田県内にあるか。
4	テストの問題　入学できるか
5	県内に学びたいことができる学校があっても県外に行きたいと思うのはいいんですか
6	どういう所が良いのかがわからない
7	性の多様性に対する学校の理解や受け入れ環境への不安
8	友人が同じ高校に来るか、友人ができるか
9	高校を選ぶときにいつぐらいまでに高校を決めればいいですか？
10	何々をしたら留年をするという決まりがわかりません。
11	進みたい進路は決まっていますが、自分の実力が追いついていない気がします。
12	授業に自分がついていけるかが不安です。
13	医療・福祉、介護については学べるのか
14	内見などがわからない所
15	公立と私立と国立の細かな違いがわかりません
16	公立で硬式野球が強い所はどこ
17	高校の授業についていけるかが心配です。
18	体験会などの情報はどこからもらうことができるのか？
19	どの高校に入れば自分の夢に近づくことができるのかがまだあまり分かっていない。
20	受験、偏差値
21	勉強が追いついて行けるかが不安です。
22	高校生活が充実できるか
23	勉強についていけるか
24	どんな所へ行けば安定して就職できる確率が上がるのか

25	大館の高校に行くとしたらどうやって通学すればいいのかや、友達と違う高校に行ったらもう会えなくなってしまうのかなどが不安でありわからないです。
26	勉強が、不安です。
27	自分にあった高校なのか？ 自分が満足できる学校生活を送れるか？ 知ってる人も入るか「同じ中学校」
28	どこに行けばいいのかわからない。
29	友達
30	県外に行きたいが、一人暮らしは不安
31	行きたい学校がない場合は、どのようなことを中心に考えればいいですか。
32	親から進められた家から近いところに行くか、離れた自分の行きたいところに行くか
33	電車が停まる
34	高校の学科どれにすればいいかわかんない
35	進路が決まらない（鹿角高校、けいおう、秋田高校、県外）
36	普通科と産業工学科の違いがどのようなものなのかが分からいないので知りたいです。
37	まだしたいことが見つかっていないことが不安。
38	大館の高校に通うと冬に電車が止まりがちので学校に通えない日とかあって不安だなと思います。
39	友達との関わり方
40	みんなについていけるか
41	県外に行きたいが、一人暮らしは不安。
42	受験で合格できるかしんぱい
43	高校の勉強内容についていけるか
44	第一志望の高校は、どうやって選んでいけばいいのかわからない。第一志望の高校は、あるけれど、通学時間が長い高校なので、時間がかかっても普通に行けるのかが不安
45	私立高校にスポーツ推薦で行く場合、通信簿などで 2 などがついてしまったら行けないのでしょうか。